

社協だより



寄付金付きピンバッジ完成!!



毎年10月1日より始まる赤い羽根共同募金活動に先駆け、2021年度版寄付金付きピンバッジ（洞爺湖町限定）が完成しました。

今年は、洞爺湖町のご当地キャラクター「洞龍（とうろん）」くんが「湯（ゆ）ったり」と「洞爺湖温泉」でくつろぐデザインとなっております。

本バッジは、500円以上の募金にご協力いただいた方へお渡ししており、洞爺湖町社会福祉協議会本所・支所をはじめ、下記の協力施設にて数量限定で取り扱っております。

ご協力いただきました募金額のうち、制作費を差し引いた金額が地元の募金実績となり、洞爺湖町の福祉活動に活用されます。

皆さまの温かいご支援、どうぞよろしくお願いいたします。



バッジ取り扱い先



洞爺湖町社会福祉協議会本所及び支所のほか、次の4か所の施設にご協力をいただき、取り扱っております。お立ち寄りの際には、ぜひチェックしてみてください♪

- ◆ 道の駅あぶた 様(入江84番地2)
(カプセルトイマシンにて取り扱い)
- ◆ 道の駅とうや湖 様(香川9番地1)
- ◆ とうや水の駅 様(洞爺町100)
- ◆ ラグ・タイム 様(洞爺湖温泉144)



赤い羽根サポーター宣言!



洞爺湖町民生委員
児童委員協議会の皆さん

洞爺湖町議会議員会
及び洞爺湖町民生委員
児童委員協議会、洞爺

湖町役場の皆様に、寄付金付きピンバッジによる募金のご協力をいただきました。多くのご支援ありがとうございました。

ご協力ありがとうございます



発行：社会福祉法人 洞爺湖町社会福祉協議会

本所：〒049-5604 虻田郡洞爺湖町栄町63番地1 健康福祉センターさわやか内
電話76-4363 FAX76-4368 メール toyako-sha.abuta@jupiter.ocn.ne.jp
洞爺支所：〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町132番地2 洞爺ふれ愛センター内
電話82-5185 FAX82-5895 メール toyako-sha.tsutsuji@theia.ocn.ne.jp
ホームページ：http://toyako-shakyo.org

社協だよりは町民の皆様からの「社協会費」と「赤い羽根共同募金助成金」を活用して発行しています。



令和2年度 洞爺湖町社会福祉協議会事業報告と収支決算

令和2年度事業報告

《福祉サービス》

- ・移動支援サービス 1, 543件 ・配食サービス 1, 104食
- ・車椅子レンタル 12台 ・ふれあい交流会 405名
- ・ホームヘルプサービス 1, 396名 ・デイサービス 1, 121名

《福祉事業》

- ・長寿まつり開催助成 1, 963名 ・歳末助け合い見舞金贈呈 15世帯17名
- ・65才以上名簿作成 ・一般募金社協配分事業 総額1, 312, 931円（5事業）
- ・社協広報誌 7月・9月・1月・3月発行（年4回）・はつらつ号 偶数月発行（年6回）
- ・地域ガイドブック発行（8月） 各（町回覧にて全戸配布）4, 100世帯
- ・生活福祉資金貸付相談 年間1件 ・生活福祉資金貸付(特例)相談 年間81件
- ・福祉金庫貸付相談 年間13件 貸付13件
- ・地域包括ケア会議への参加、周知協力 ・とうやこケアネットワーク協議会への参加
- ・ボランティア研修会兼福祉委員研修会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- ・はつらつポイント事業（登録：16事業、ポイント手帳交付者 98名）
ポイント交換数 67名 5ポイントで500円の商品券と交換（A マート・ウロコ）
- ・手助け隊事業（ボランティア登録数38名、活動延べ数 1,032回）
活動者座談会12月開催（15名） ・コグニの集い開催（毎月第3木曜日）
- ・はつらつ楽習！脳の健康教室虻田地区（6カ月）受講修了者8名・サポーター3名
- ・ペットボトルキャップ収集事業 搬送1回（日輝通商(株)小牧工場）478kg 2,629円



令和2年度収支決算

収入の部（単位：円）			支出の部（単位：円）		
科目	決算額	備考	科目	決算額	備考
会費収入	2,997,000	一般、賛助	人件費支出	51,944,648	事務職 6名 介護職 6名 パート10名
寄付金収入	850,000	福祉事業を目的に			
経常経費補助金収入	39,811,000	補助金	事業費支出	11,050,558	各事業運営費
受託金収入	9,618,839	受託事業人件費	事務費支出	3,334,545	法人関係事務経費
事業収入	3,241,100	利用料	貸付事業等支出	410,000	福祉金庫13件
貸付事業等収入	516,000	福祉金庫18件	共同募金配分金支出	924,576	福祉協力校助成事業他
共同募金配分金収入	1,534,507	赤い羽根、歳末	助成金支出	3,407,100	長寿まつり助成
介護保険収入	13,943,446	ホームヘルプ デイサービス	負担金支出	342,300	道社協・デイ ヘルパー他
雑収入・受取利息配当金収入	113,763	各団体事務経費 （7団体）	サービス区分間繰入金支出	1,641,704	法人、共募
負担金収入	22,725	はつらつポイント			
サービス区分間繰入金収入	1,641,704	地域福祉、法人 ポラセン	雑損失	—	—
施設設備等収入	—	—	施設整備等支出	—	—
積立資産取崩収入	2,308,000	—	積立資産支出	593,220	退職共済積立
前期末支払資金残高	△1,350,361	—	当期末支払資金残高	1,599,081	—
収入合計	75,247,732	—	支出合計	75,247,732	—

令和3年度 洞爺湖町社会福祉協議会事業計画と収支予算

《基本理念》『やさしさあふれる健康福祉のまちづくり』



令和3年度重点項目

- 「第2期洞爺湖町地域福祉実践計画」に基づき、超高齢化社会に対応した福祉施策の推進と、地域に暮らす高齢者世帯、独居、認知症などの方々が、安心・安全な生活を送れるよう、地域住民やボランティアと協力し、共に支え・見守り合える地域づくりの実現のため、地域・行政との連携を強化し、地域福祉を担う体制づくりを推進します。
- 介護保険事業は、利用者に求められるサービスを第一に、経営環境並びに職員の資質向上等に努め、安定的な介護サービスの提供に努めてまいります。また、安定したサービスを提供するための要となる「介護職員並びに看護職員」の確保が、今後の通所介護事業を安定的に運営する上での大きな課題となっています。
- 開始4年目を迎える「はつらつ楽習！脳の健康教室」は、認知症予防対策としての効果が高く、高齢者がより参加しやすい工夫として、参加者の送迎を導入し、継続して開設します。また、「介護予防」の重要性について、引き続き、町民に対し啓蒙周知を行ってまいります。
- 「手助け隊事業」及び「はつらつポイント事業」は、ボランティア事業として、町民に定着してきました。半面、事業の担い手となるボランティアの高齢化が進んでおり、人材の不足が危惧されています。このような現状から、引き続き、町内に潜在するマンパワーの発掘に努め、事業の安定化ときめ細やかなサービス提供体制づくりを推進してまいります。
- 近年、頻発する自然災害や将来的に予想される有珠山噴火など災害等が発生した場合、地域の復旧・復興及び被災者支援に大きな役割を担う災害ボランティアセンターの設置・運営を円滑化するため「洞爺湖町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」策定の取組みを進めて来ましたが、令和2年度、マニュアルの叩き台となる「素案づくり」が終了しました。このことから、令和3年度は、作成した素案をもとに「洞爺湖町地域防災計画」との整合性及びマニュアル（素案）内容等について、行政担当課との調整・協議を行い、早期のマニュアル策定を進めるとともに、行政と災害ボランティアセンター設置運営に関する協定の締結に向けた準備を進めてまいります。
- 町民に、信頼され頼られる社会福祉協議会を目指し、地域が抱える福祉課題を真摯に受け止め、その解決を図ることを使命として、役職員がともに課題を共有したうえで研鑽に努め、福祉のまちづくりの実現を目指します。

令和3年度実施事業

1. 福祉サービスを利用しやすい仕組みづくり（基本目標1）

- ◆相談支援体制の整備◆ ・総合相談の受付（随時受付）
- ◆情報提供の体制の充実◆ ・社協だより等による情報発信及びホームページの充実 ・「はつらつ号」によるボランティア情報等の発信
- ◆福祉サービスの充実◆ ・移動支援体制の充実 ・配食サービス事業（受託事業） ・介護保険事業の実施（デイサービス・ヘルパー）
・介護予防事業としての認知症予防対策（はつらつ楽習!脳の健康教室）の実施 ・室蘭市成年後見センターとの連携による認知症高齢者の擁護
- ・日常生活自立支援事業への取り組み ・赤い羽根共同募金による福祉活動推進（各小中学校への活動支援・各自治会への活動支援）
- ・歳末見舞金配分事業の促進支援（歳末見舞金の交付基準の見直し） ・福祉金庫貸付事業 ・生活福祉資金貸付事業（北海道社協）への協力



2. 安心して暮らせる環境づくり（基本目標2）

- ◆支え合える関係づくり◆ ・高齢者の実態把握(65歳以上世帯調査の実施)・手助け隊事業の充実強化(ボランティアの発掘・事業周知)
- ◆安心安全を支える体制づくり◆ ・福祉委員活動の充実 ・「鍵預かりサービス事業」の周知啓発
・災害ボランティアセンター運営マニュアル策定に係る行政との協議他

3. ふれあいとつながりの場所づくり（基本目標3）

- ◆住民のつながる場所づくり◆ ・ふれあい交流会の開催 ・長寿まつり等に対する支援 ・コグニの集いの開催
・サロン活動運営に対する助言及び新規開設に向けた啓蒙啓発
- ◆地域における連携体制づくり◆ ・福祉関係団体との情報共有の推進

4. 福祉を支える人づくり（基本目標4）

- ◆福祉意識向上の体制づくり◆ ・ボランティア研修会の開催 ・ボランティア人材の発掘及びボランティア登録の促進
・ボランティアセンター活動の活性化と啓蒙啓発 ・福祉関係団体等との連携強化



収入の部（単位：円）			支出の部（単位：円）		
科目	予算額	備考	科目	予算額	備考
会費・寄付金収入	3,169,000	一般・賛助寄附金	人件費支出	57,485,000	事務職6名 介護職7名 パート10名
経常経費補助金収入委託金収入	50,181,000	町補助金 道・町受託金			
事業・貸付事業収入	4,612,000	利用料・償還金	事業費・事務費貸付事業支出	17,267,000	各事業運営費 消耗品・貸付
介護保険収入共同募金配分金収入	20,421,000	ヘルプ・デイ 赤い羽根・歳末 団体事務費	共同募金配分金支出・助成金	4,601,000	消耗品、広報
雑収入・受取利息配当金負担金	143,000	介護予防負担金	負担金支出	355,000	道社協外
サービス区分間繰入 積立資産取崩し収入	2,921,000	福祉事業・ポラセ ン・福祉金庫	サービス区分間繰入 積立資産支出	1,739,000	法人・共同募金
収入合計	81,447,000		支出合計	81,447,000	

令和3年度収支予算

洞爺湖町社会福祉協議会 役員・評議員等のご紹介

【会 長】

福井 政吉

【副会長】

沼田 光博

加藤 知子

【監 事】

丹野 幸尋

上埜 二郎

【理 事】

佐藤 義昭・堀家 潔・村上 正敏・大廣 功・奥山 洋子

鈴木 孝・青木佐智子・行徳 秀和・畠山 三男

【評議員】

夏目 與市・山浦 和好・吉田 聡・赤川 龍磨・矢野 辰典

依田 信之・皆見 吉和・近藤 利男・矢野 克典・橋本 健司

毛利 政則・宮崎三記子・中上 玲子・村上喜美子・野坂 登

齊藤 明子・小林美智子・川上由起子・山田 晃・横山アイ子

寶積ナヨ子・高橋 昭夫・大西 正夫・木村 英昭・高橋 進

高橋 憲史

令和3年度 老人クラブ連合会表彰

【洞爺湖町老人クラブ連合会会長表彰】

山 田 睦 美 様 (栄クラブ)

阿 部 昭 様 (かっこうクラブ)

西 岡 義 夫 様 (大原喜楽会)

毛 利 勲 様 (大原喜楽会)

【胆振地区老人クラブ連合会福祉功労者表彰】

高 木 ミサ子 様 (栄クラブ)

青 木 桂 子 様 (栄クラブ)

西 田 久 様 (睦 会)



生活就労サポートセンターいぶり



総合相談窓口「生活就労サポートセンターいぶり」では、「住むところに困っている」、「仕事が決まらない」、「子どものひきこもりが心配」、「借金が多くて悩んでいる」、「生活費に困っている」、「働いたことがなく心配」などの困り事や不安を抱えている方のご相談をお受けし、支援サービスを行っております。(胆振総合振興局からの委託事業です。) お気軽にご相談ください。

***** 【お問合せ先】 *****

開所日：月～金曜日 8：30～17：30

休館日：土・日曜日・祝日・年末年始

フリーダイヤル：0120-09-0783

メール：iburi-soudan@roukyou.gr.jp



たくさんのご寄付

【金 品】あさひ団地一同 様 (1,118 円)

【物 品】旭岡 勉 様 (新品タオル)

【古切手】安富 隆吉 様・坂井 千枝 様

大友 靖子 様・笠井 寛子 様・虻田郵便局 様

洞爺温泉郵便局 様・あぶた読書の家 様

洞爺湖町住民課 様

【ペットボトルキャップ】安富 隆吉 様・谷 良男 様

下妻 末乃 様・芦原 正雄 様・武川 キヨミ 様

小塚 康子 様・坂上 昭郎 様・後藤 やすこ 様

井本 清江 様 大友 靖子 様・正源 なみ子 様

坂井 千枝 様・妻木 征男 様・橋本 義孝 様

佐々木 勉 様・大友 靖子 様・あさひ団地一同 様

(株)高橋石油 様・虻田郵便局 様

【リングプル】 安富 隆吉 様・亀田 信子 様

沼田 盛昭 様・芦原 正雄 様・後藤 やすこ 様

下妻 末乃 様・坂上 昭郎 様・武川 キヨミ 様

あさひ団地一同 様 (R3.3.4～R3.6.30 迄掲載)

ありがとうございました

事務所移転の お知らせ

4月より、社会福祉協議会の事務所が移転しました。新事務所は、「健康福祉センターさわやか内旧トレーニング室」内にございます。

なお、同じ建物内での移動のため、住所や電

話番号に変更はございません。

御用の方は、新事務所までお越しください。

